

一筆啓上

作左通信



第八十二号 平成二十九年二月一日(水)発行

地域とともに成長する子供たち

白い息を吐きながら登校

す。

する傍らで、黄色い安全ジャ

学習面では、昔遊びの体験

ケットを着た多くの登下校

や野菜の世話の仕方、稲栽培

ボランティアの方が子供た

などを特に老人クラブの方

ちの登校を見守ってください

から教えていただいています。

います。

す。また、二年生では、交番

六ツ美西部小学校では、開

やパン屋、花屋などの地域の

校以来、地域の方や保護者、

施設や商店などを見学し、地

学校が一体となって子供た

域の素晴らしさを体感する

ちの成長を支援しています。

機会を作っていました。

安全面での支援が、登下校ボ

ます。

ランティアの方々の活動で

クラブ活動では、茶道をは

じめ手芸、和太鼓やゲートボ

ールなどを学区の方に教え

ていただいています。また、

にこにレンジャーの方に

読み聞かせをしていただき、

本に親しんでいます。さらに、

なのはな遊歩道愛護会の支

援で、菜の花とコスモスの種

まきをしています。自分たち

のまいた種がきれいな花を

咲かせた遊歩道を見て、感激

の声を上げています。

六ツ美西部学区はできて

からまだ二十年ですが、地域

には本多作左衛門生誕の地

であり、他にも歴史的な建造

物もあります。子供たちは、

地域の「もの」「こと」「ひと」

に触れ、子供たちを包み込ん

でくれる愛情は、子供たちの

心の支えであり、子供たちを

成長させていただくエネルギー

ギーでもあります。学区の皆

様のご支援に感謝していま

す。今後も地域・保護者と一

体となった学習を進めてい

きたいと思えます。



野菜の世話の仕方の指導)

(六西小教頭 島田繁直)